

(15) 阪神・淡路大震災の影響

95年1月に発生した阪神・淡路大震災は、地域産業界に多大な被害をもたらした。ここでは、3日間調査の結果を用い、貨物流動面での大震災の影響について分析する。具体的には、95年調査における3日間調査が95年10月17日～19日の実績であり、震災から9ヶ月後であることから、震災5年前、震災直後、震災5年後（90年95年2000年）の出荷量の推移を捉え、被災地の回復状況について分析を試みる。

1) 兵庫県の出荷量の変化

兵庫県の出荷量は、全国の動向と同様に90年95年2000年と減少傾向にあり、90年95年に比して、95年2000年の減少率の方が大きくなっている。これを兵庫県以外の地域と比較すると、90年95年の減少率は兵庫県以外の地域と比較して大きく、震災が発生した95年の出荷量の落ち込みの大きかったことを示している。また、95年2000年の減少率も他の地域よりも大きく、復興への道のりの厳しいことがうかがえる。

95年から2000年にかけての変化を発産業別にみると、鉱業、卸売業では出荷量が減少しているものの、その他の近畿よりは減少率が小さくなっている。しかし、製造業では、その他の近畿は増加、その他の全国は減少という状況下において、兵庫県は大幅な減少となっており、兵庫県全体の出荷量減少に大きな影響を及ぼしている。また、倉庫業は、全国的には増加しているなかで近畿は減少しており、なかでも兵庫県は大幅な減少となっている（表3-3-19）。

表3-3-19 産業別発出荷量の地域比較

(3日間調査 単位：千トン、%)

発地	発産業	90年	95年	2000年	95/90	2000/95
兵庫県	鉱業	186.0	186.8	149.8	0.4%	-19.8%
	製造業	981.9	910.5	643.5	-7.3%	-29.3%
	卸売業	256.4	180.4	134.8	-29.7%	-25.3%
	倉庫業	102.0	102.3	78.5	0.3%	-23.2%
	合計	1,526.3	1,379.9	1,006.7	-9.6%	-27.0%
その他近畿	鉱業	369.3	265.2	144.6	-28.2%	-45.5%
	製造業	2,057.2	1,744.8	1,814.2	-15.2%	4.0%
	卸売業	578.0	705.5	394.6	22.1%	-44.1%
	倉庫業	277.6	293.2	263.1	5.6%	-10.3%
	合計	3,282.1	3,008.7	2,616.5	-8.3%	-13.0%
その他全国	鉱業	5,661.8	4,519.1	3,851.7	-20.2%	-14.8%
	製造業	17,300.7	17,470.7	14,645.7	1.0%	-16.2%
	卸売業	3,931.2	4,386.8	3,722.2	11.6%	-15.1%
	倉庫業	1,549.3	1,761.8	1,846.4	13.7%	4.8%
	合計	28,442.9	28,138.4	24,066.0	-1.1%	-14.5%
全国計	鉱業	6,217.1	4,971.1	4,146.1	-20.0%	-16.6%
	製造業	20,339.8	20,126.0	17,103.4	-1.1%	-15.0%
	卸売業	4,765.6	5,272.7	4,251.6	10.6%	-19.4%
	倉庫業	1,928.8	2,157.3	2,188.1	11.8%	1.4%
	合計	33,251.4	32,527.1	27,689.2	-2.2%	-14.9%

2) 製造業の出荷量・出荷額等の推移

兵庫県の出荷量減少に大きな影響を及ぼしている製造業について、その業種構成をみると、鉄鋼が24.6%を占めて最も出荷量が多く、以下、窯業・土石製品(20.4%)、石油製品・石炭製品(15.6%)、食料品(9.5%)の順となっている。95年調査と比較すると、窯業・土石製品の占める割合が大幅に低下している(図3-3-69)。

次に、業種別に95年-2000年の変化をみると、兵庫県が兵庫県以外の地域と比較して、出荷額、出荷量ともに増加あるいは減少していても減少率が小さくなっている業種としては、食料品、繊維、木材・木製品、プラスチック製品、なめし革・同製品、鉄鋼、金属製品、電気機械器具などが挙げられ、これらの業種は震災後回復の兆しがみえてきたものと推察される。一方、兵庫県以外の地域と比較して、出荷額、出荷量ともに大きい業種としては、窯業・土石製品、化学、石油製品・石炭製品、飼料・飲料・たばこなどが挙げられる。これらの業種は、出荷量が相対的に多い業種であることから、製造業全体の出荷量の減少に大きな影響を及ぼす結果となっている(図3-3-70)。

図3-3-69 兵庫県製造業における出荷量の業種構成の推移

(3日間調査 単位：%)

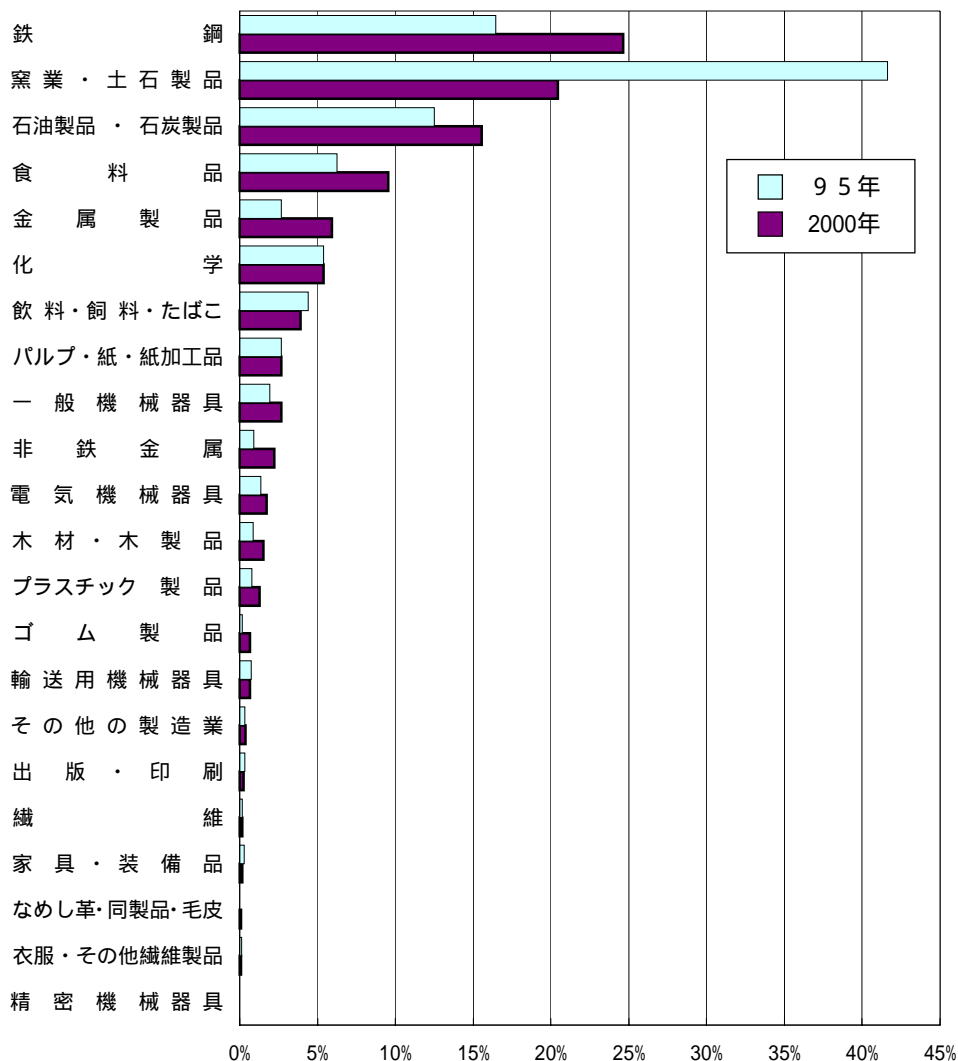
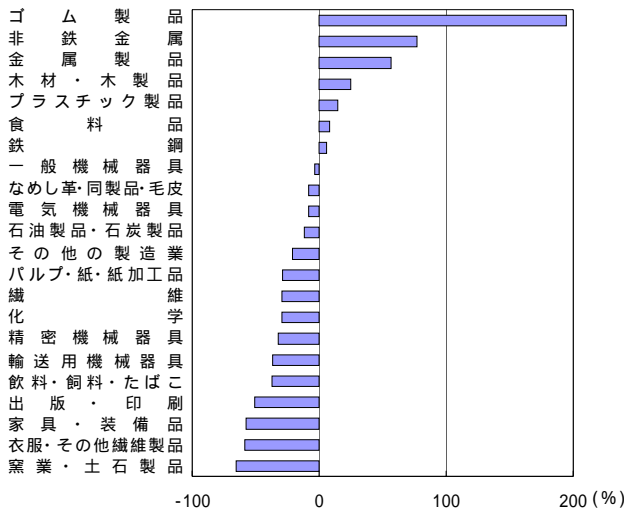


図3 - 3 - 70 地域別にみた製造業出荷量・出荷額の業種別増減率（2000年 / 95年）

（3日間調査 単位：％）

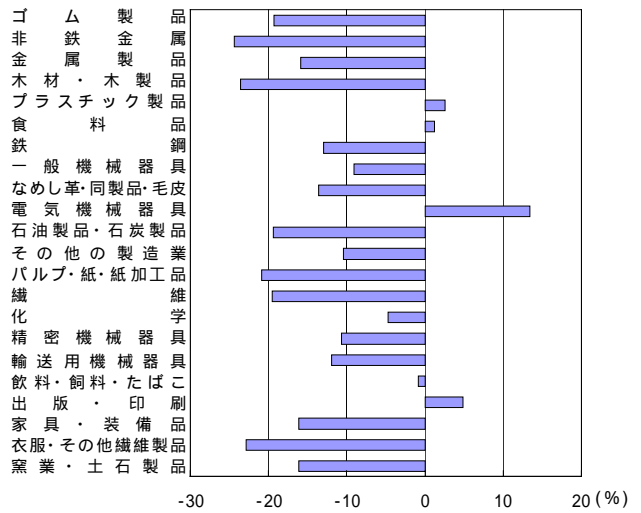
出荷量

兵庫県

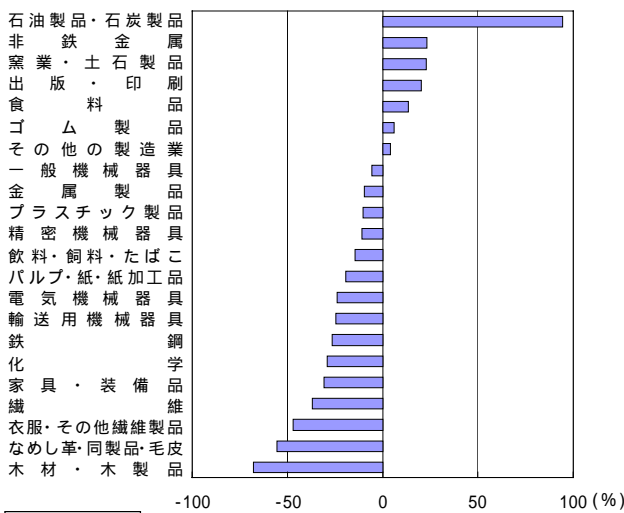


出荷額

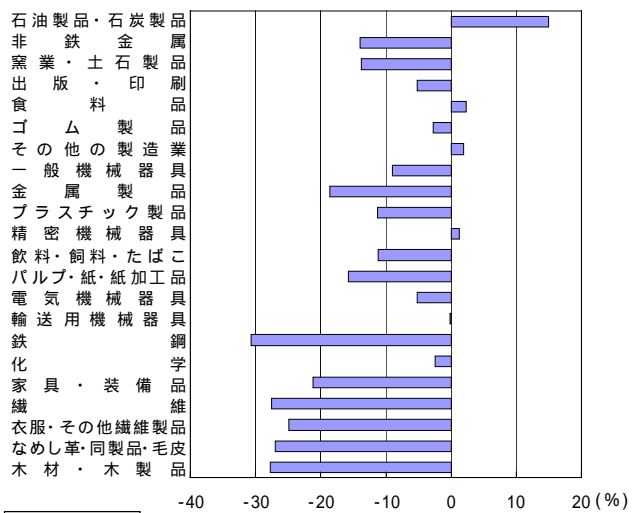
兵庫県



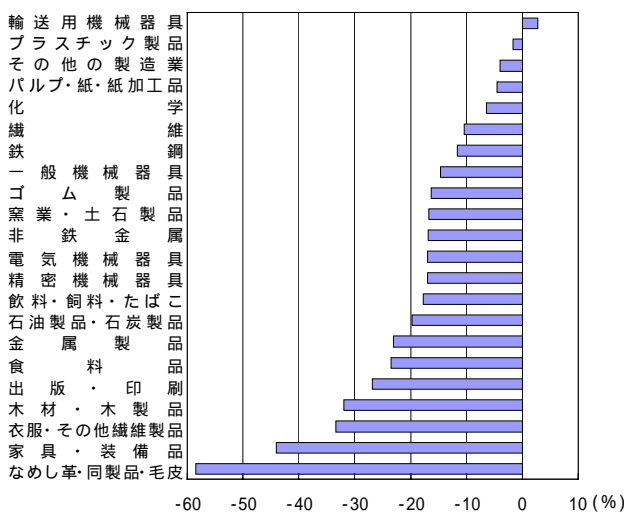
その他近畿



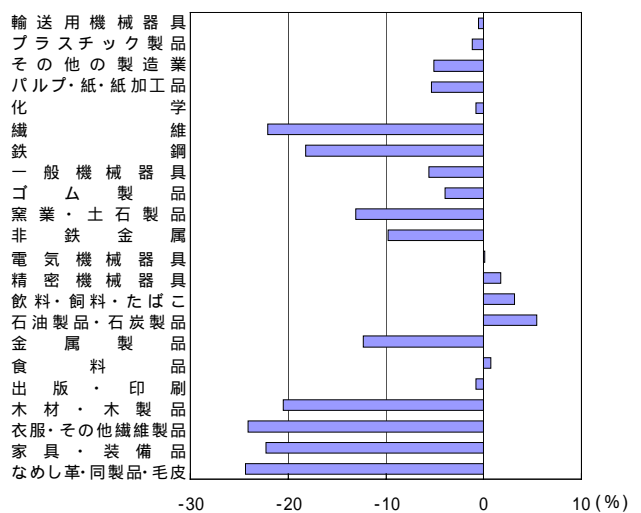
その他近畿



その他全国



その他全国



3) 被災地域の出荷量の変化

震災の影響が特に大きかったと考えられる神戸市、西宮市、芦屋市の3市について、出荷量の推移をみると、3市の出荷量が兵庫県全体に占める割合は、90年の19.4%から95年には15.8%へと3.6ポイントも減少しており、震災の影響が顕著に現れている。しかし、95年2000年については、出荷量は減少しているものの、兵庫県全体に占める割合は23.5%へと7.7ポイント増加しており、経済基盤の復興がうかがえる。発産業にみると、鉱業では3市の県全体に占める割合が95年に比較して5.7ポイント増加しており、製造業では95年に10.0%に落ち込んだが割合が、2000年には22.5%に回復している(表3-3-20)。一方、製造業の出荷額の推移をみると、3市の県全体に占める割合は、95年の23.0%から2000年の23.5%へと0.5ポイントの増加になっている。

卸売業では、販売額における県全体に占める3市の割合は回復の兆しがみえるが、出荷量では95年の30.8%から2000年の14.6%へと、16.2ポイントの減少になっている。

倉庫業では、3市の出荷量が県全体に占める割合が、95年の67.8%から2000年には78.4%へと10.6ポイント増加しており、回復基調にある(図3-3-71)。

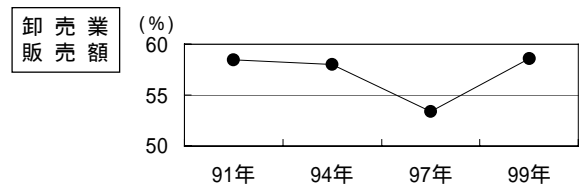
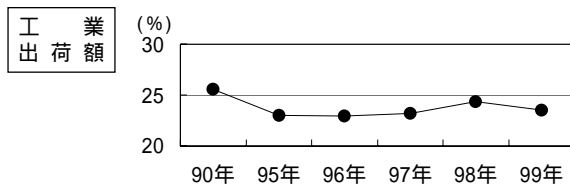
表3-3-20 震災被害の大きい兵庫県内3市における出荷量の推移

(3日間調査 単位:トン、%)

発産業	区分	出荷量			増減率	
		90年	95年	2000年	95/90	2000/95
鉱業	兵庫県(計)	186,046	186,800	149,793	0.4	-19.8
	被災3市	4,600	2,200	10,346	-52.2	370.3
	被災3市/県計	2.5%	1.2%	6.9%		
製造業	兵庫県(計)	981,900	910,467	643,545	-7.3	-29.3
	被災3市	128,200	90,800	144,913	-29.2	59.6
	被災3市/県計	13.1%	10.0%	22.5%		
卸売業	兵庫県(計)	256,400	180,382	134,797	-29.6	-25.3
	被災3市	83,400	55,500	19,633	-33.5	-64.6
	被災3市/県計	32.5%	30.8%	14.6%		
倉庫業	兵庫県(計)	102,000	102,264	78,545	0.3	-23.2
	被災3市	80,200	69,300	61,579	-13.6	-11.1
	被災3市/県計	78.6%	67.8%	78.4%		
計	兵庫県(計)	1,526,300	1,379,913	1,006,680	-9.6	-27.0
	被災3市	296,400	217,800	236,471	-26.5	8.6
	被災3市/県計	19.4%	15.8%	23.5%		

注) 被災3市:神戸市、西宮市、芦屋市

図3-3-71 震災の被害の大きい3市の県内シェアの推移



注) 「工業統計表(通産省)」より作成。従業者4人以上の事業所。県内3市とは神戸市、西宮市、芦屋市。

注) 「商業統計表(通産省)」より作成。代理商、仲立業を除く。県内3市とは神戸市、西宮市、芦屋市。